

さわがせ

号数 第 3 2 6 号
発行日 令和 4 年 1 月 9 日
発行所 金光教 韮 教会
〒 550-0011
大阪市西区阿波座 2-2-10
TEL&FAX 06(6541) 6313
mail : kagiyama2001@ybb.ne.jp



令和 4 年元旦祭におかげをいただき参拝されました (1月1日)

しあわせな家庭生活

教会長 鍵山 公生

新年あけましておめでとうございます。

一昨年よりコロナウイルス感染症のあおりを受けて、精神的にも経済的にも押さえられ、厳しい月日を過ごしてきました。ワクチン投与のおかげで収束の兆しが見えてきたかと思えば、またオミクロン株が広がりつつあり、まだまだ安心した生活に戻ることができないようです。早く完全な終息となり、今年は感染症の心配もなく、輝かしい、幸せな年になりますようお願いさせていただきます。

真の幸せとは

さて幸せというものはどんなことを言うのでしょうか。それぞれ受け方によって違うでしょうが、一般的には健康でその日その日が不自由なく、そして家庭の仲が円満に生活ができれば、最高のと言わなくとも、幸せと言えるのではないのでしょうか。しかし、いやいやもっと刺激のある生活でなければとか、人に雇われるのではなく自ら大きな会社経営をして、立派な家に住んでこそ幸せというものだ、などなど考える人もあるでしょう。そこで幸せについて考えてみました。



命のあること

朝目が覚めたとき、今日も命あることを喜び感謝したいものです。そして今日は何をさせていただこうかという目標を持って、毎日がいきいきと生活できることが幸せなことです。

食べることができる

教祖様の時代に塩飽きよさんは、「長らく信心をさせてもらっていますが貧乏で困ります」と申しあげたら金光様は、

「貧乏とって、食べない時があるか」とおたずねになった。

「いや、食べられないことはありません」と申しあげたら、

「いくら金や物を積み重ねていても、食べられないことがあってはどうにもなるまい。まめ（健康）で麦のご飯が食べられれば、それが分限者（金持ち）ではないか」と仰いました。

教祖様のご在世中の農民は、まだ毎日白米を食べることができず、麦飯を主食としている家庭も多くあったようです。そこで塩飽さんは、白米が食べられる家庭になりたいと考えられたのでしょう。ところが金光様は、その麦飯すら食べられない人もある。それから見ればまだ恵まれているではないかと仰せなのです。

そのほかに自分が生活する中で与えられている空気や水など恵まれている様々なものに気づき、お礼申していくことです、

住む家があること

二代靱教会長が現在の地に、焼け残ったトタンを駆使してバラックを建てて戦後再布教されましたが、当時としては、身の周りに同じような生活をしている人も多く、卑屈に思うこともなかったでしょう。それでも今から考えると、あの粗末な家でよく辛抱されたことと思われます。

以前に寒風吹く教会そばの道路脇に、ビニールに包まれた物体が転がっていました。恐る恐る確かめると人だったのです。初めは死んでいるのかと一瞬ギョッとしましたが、どうやらラップを体に巻き付けて寒さをしのいで野宿していたのです。軒先も屋根も何もない寒空でよくも寝られるものだと驚きました。

また現在でも時々見かけますが、高速道路の下に段ボールで囲って寒さをしのぎつつ生活している人もあります。そんな人に時折会っては話しかけます。

ある人は最近見かけないなと思っていたら、道でひょっこり出会い、「今、簡易施設に入ってまんねん。今までアルミ缶や段ボール集めてるよりずっと楽になりましたわ」と言われ、また別の人に、「こんなところで生活せんと生活保護を受けたらどうですか」と言うと、「施設に行ったら制約があって、このままが気楽でええんですわ。人の世話になりたくないんですわ」と応えられ、そういう人は仕方ありませんが、そのようなことを思うと粗末な家であっても、雨露をしのぐことのできる家があるということはありがたいことだと思います。そうかといえ教会の周りを眺めると、高級高層マンションに明々と電灯を付け、ぬくぬくと暮らしている人もいます。下を見ても上を見ても限りがありません。

働く仕事があること

最近ではコロナにより人件費削減の企業が多くなり、就職が厳しくなりました。学校を卒業しても自分に合った仕事が見つからず、その原因に高望みし過ぎたり、自分の能力を過大評価しすぎて、収入のいいところばかり探し、手元のことをお

ろそかにして失敗することがあります。自分をよく知ることです。どんな仕事でも神様から与えられた天職だと思って取り組めば何とかやっていけるものです。まずは働かせていただく仕事があることに感謝することです。

安心できる家庭があること

「信心は家内に不和のなきがもとなり」とのみ教えのように、家庭が円満であることはとても幸せなことです。数日間の旅行をして帰宅した時「やれやれくつろいだ」といって落ち着くもので、自宅が一番心の安らぐところなのです。

本当の幸せとは何かというテーマで38歳の主婦が新聞の投稿に、「夫と何でも半分こ」、回転ずしに行けば、自分の好きなお皿を取っても、半分は夫に譲る。反対に夫が取った皿は自分が半分。またスイーツを2つ買って、一つを半分にして分け合い、もう一つもまた分け合って2回楽しむ。こうして同じ楽しみを一緒に味わえるのはささやかな幸せの瞬間で、一人で丸々一個食べるよりもおいしく感じるから不思議。与える喜び、分け合う幸せを味わって、幸せを見つけてそれを積み重ね、増やしてゆくものかもしれない。これからもそのような幸せ夫婦でありたい、と結ばれていました。



今年は、立派な松の入った、教会長先生お手製の門松が、玄関を彩りました。

とてもほほえましい夫婦生活。それが無理矢理ではなく、自然感覚でできておられることが素晴らしいですね。金光様は、「夫婦は家にとえれば、合掌と同じことである。一方が倒れると一方が立たなくなる」と仰せられ、夫婦相互に支え合って生きていくのが幸せを築いていく元なのです。

人にも神様にも喜ばれる人

人間はどこに基準を置いて物事を見るかということが問題になってきます。もっともっと身近なことの中に幸せを感じながら生活をしている方もあります。

小学2年生の子がお母さんに向かって、「うちの家は変な家だなあ」と言うので、「それはなぜ」とお母さんが聞くと、「テレビのアニメでもドラマでも、お母さんが台所でご飯ごしらえをされていて、お父さんはテレビを見ながらたばこを吸ってテレビを見ている。うちではお父さんが食事ごしらえをして、お母さんがテレビを見ながらお酒を飲んでる」と。お母さんは、「それぞれ家によって違う、それでいいんだよ」と応えたという。

それでもそれぞれ家族の者が納得して円満に過ごしていればいいのです。他人がそれをとやかく言うことはないのです。自分が誰かに頼りにされている人は生きがいを感じるが、邪魔にされたり無視される人はとてもさみしくつらいことです。このお道は「人を助けて己が助かる道」と仰せられています。お金があってもなくても、自分にできることは何かを探し、人のお役に立ち、人にも神様にも喜ばれる人でありたいものです。

新しい年の初めにあたり、今年も家族そろって支え合い、お互いの素晴らしいところを褒め、人に与える喜びをもって、笑いの絶えない一年となりますよう祈念させていただきます。

信徒会長新年のご挨拶 渡辺 秀孝

新年あけましておめでとうございます。

信奉者の皆様には良きお年をお迎えになられました事とお慶び申し上げます。

昨年は、「コロナ禍」の中でも、教会行事がつつがなく行われ、有難い事と思っています。今年もまだ続きますが、私は「難はみかげ」のみ教えを、「変化はチャンス」と言い換えています。

「難儀」は「変化」です、何かが変わると、良くなる所と悪くなる所があります、教祖のみ教えの、「良くなると思え」で良いことをさがして、大きな「おかげ」の年に成ることを願いまして、ご挨拶とさせていただきます。



令和3年度信徒会収支決算報告

会計 山下 恭平

収入の部

科目	金額	摘要
会費	226,800	令和3年度
寄付金	115,670	寄付者2名他匿名
預金利息	1	みなと銀行解約利息
前年度繰越金	277,068	令和2年度より
合計	619,539	

支出の部

科目	金額	摘要
大祭費(春)	67,405	(直会費、典楽会寄付、消耗品)
”(秋)	59,267	講師御礼、その他)
新年会費	18,739	
連合会費	15,000	第一連合会信徒会拠出金
賛助金	20,000	少年少女会
布教部講師費	48,000	前期(24,000)後期(24,000)
敬老の日お祝	2,576	
次年度繰越	388,552	令和4年度へ
合計	619,539	

さわかぜ収支決算報告 (令和3年1月～12月)

収入の部

項 目	収 入	備 考
前年度繰越	9,334	令和2年度より
賛助会費	309,000	309口
準備金より	0	
合 計	318,334	

支出の部

項 目	適 用	支 出	備 考
印 刷 費	外注印刷代	61,404	第318号～325号 印刷用紙購入
	用紙購入代	6,076	
	記録及び展示写真	5,785	
通 信 費	送料切手代	86,404	
	電 話 代	1,000	
消 耗 品 費	文具代	8,575	
	プリンターインク代	5,300	
雑 費	インターネット代	46,011	
	光 熱 費	6,000	
	参考資料等	4,255	
備 品	ICレコーダー	6,617	
準 備 費	機材購入準備費	80,000	累計40万円
繰 越 金	繰 越 金	907	令和4年度へ
	合 計	318,334	

「愛の募金箱」ご協力感謝！

広前に設置された「愛の募金箱」に寄付されました皆様からの令和3年度募金と、ボランティアによる古紙回収の収益金を合わせた金額は、138,087円でした。日本赤十字社大阪支部へ10万円送金させていただき、青い鳥点訳グループ（点字ボランティア）へ2万円寄付いたしました。

また、日本赤十字社 社長より感謝状をいただきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。今年度もご協力お願いいたします。



令和4年1月

9日(日) 初月例祭執行 午前10時30分
祭典後、信徒会総会・新年会

10日(月)

～23日(日) 寒修行期間

●定時のご祈念(午前6時、午前10時)に参拝しましょう。

19日(水) 信徒共励会 午前10時30分

24日(月) 月例霊祭執行 午後2時

祭典後教話、講題「信心の成長」

講師 河堀教会 川勝美智興師

30日(日) もちつき大会 節分豆まき 午前10時



2月

1日(火) 月例祭執行 午後2時

5日(土) ご本部月参拝 午前6時教会出発

6日(日) うりわり墓参 午前7時

13日(日) 月例祭執行 午前10時30分

18日(金) 信徒共励会 午前10時30分

24日(月) 月例霊祭執行 午後2時

祭典後教話、大阪府連盟布教部講師

27日(日) 道の子アイススケート大会

浪速スケート場 午後1時30分



3月

1日(火) 月例祭執行 午後2時

越年祭・ひとかた行事

年末も押し迫る、12月30日、一年間の御礼と、これまでに知らず知らずに犯した罪汚れをお取り払いいただく神事、越年祭・ひとかた行事が、執り行われました。

